

平成30年度 埼玉県秩父地域保健医療・地域医療構想協議会

議 事 概 要

1 日 時 平成31年2月6日（水）午後7時から午後8時20分まで

2 会 場 埼玉県秩父保健所 大会議室

3 出席者

(1) 協議会委員 委員総数 18人（出席13名、代理出席1名、欠席5名）

(2) 事務局 保健医療政策課、秩父保健所職員

(3) 傍聴者 10名（委員随行者2名、一般8名）

4 議事内容

(1) 会長及び副会長の選任

会長に近藤委員、副会長に勅使河原委員が選任された。

(2) 議 題

① 埼玉県地域保健医療計画【第7次】秩父保健医療圏の取組状況について

資料1により、各団体の取組について、各団体所属の委員から説明した。

(質疑等)

・皆野町から住民健診における「開眼片足立ち時間」を導入について説明があったが、参加者が負担と感じ受診率の低下につながることはないのか。

⇒ 住民が負担を感じることなく転倒ハイリスク者を抽出できるよう導入したものであり、今後の広がり期待したい。

・生活習慣病予防と糖尿病性腎症重症化予防は、別の事業だと思うが語句の使い方に混乱があるのではないか。

② その他

ア 秩父地域災害時医療従事者研修会について

資料2により、事務局が説明した。

(質疑等)

・この研修会に参加した。「DIG」という災害図上訓練をグループワークを行った。どのような災害が起こるのかを想定しながら、グループで課題と解決策を検討するなかで、参加者が互いに顔が見える関係を築き、情報伝達の重要性、災害の認定等、様々な課題について、気づくことができた。

3回目の検討発表会は、3月に開催されるので、委員の皆様にもご参加いただくと良いと思う。

イ 新型インフルエンザ等の対策について

資料3により、事務局が説明した。

(質疑等)

- ・患者対応訓練の実施に協力させてもらった。この訓練により、新型インフルエンザ発生時の受入れ態勢について、再確認できた。当院では、平成29年に急性期内科病棟に個室の陰圧設備を整備し、患者の対応・治療ができるように準備を進めている。
- ・新型インフルエンザは、いつ流行するかわからない。これだけの訓練を実施してもらい心強いことである。

(3) その他

委員から発言なし